

# 横浜市男女共同参画貢献表彰 受賞者懇談会を開催しました(開催報告)

平成 29 年 3 月 23 日 (木) 横浜市庁舎応接室において、男女共同参画貢献表彰式終了後に受賞者の皆様との懇談会を行いました。

懇談会には渡辺副市長も同席し、受賞者の皆様から受賞の感想や日頃の男女共同参画に対する思いをお話しいただきました。

## 受賞者コメント

### 池田 敬子様

日本体育大学 名誉教授

(一社) 全日本ジュニア体操クラブ連盟 会長

私は、オリンピックに 3 回出場しました。最初のメルボルン五輪の時は田中敬子として、ローマ五輪の時は結婚したばかりでした。そして東京五輪の時は 2 人の子どもを抱えて出場しました。好きなことにまっしぐらに取り組むことが社会に貢献することにつながると今、感じています。

また、横浜はジュニア体操のメッカでもあります。内村航平選手も白井健三選手も横浜の大会に出場して今日に至っています。ぜひみなさん全日本ジュニア体操競技選手権大会を観に来てください。

### 嶋田 昌子様

NPO 法人 横浜シティガイド協会 副会長

横浜シティガイド協会は、もっと市民の方に横浜を知ってほしいという想いから立ち上げました。当時の市民活動は福祉分野は女性が、学習の会は男性が多いというような傾向がありました分、立ち上げ当初から、会は男女半々にしないといけないと考えていました。

現在もほぼ男女半々で活動していますが、男女共同参画社会を学んでいる最中だと考えています。

私たちの会が今後 10 年、20 年と大きくなっていく中で、もっと素晴らしい社会の実現に向けて、私たちの努力が後輩たちによって引き継がれればと思います。

### 小林 由美子様

保土ヶ谷区民会議 代表委員

私自身は 17~18 年前から地域の活動を行うようになりましたが、長く続けてこられたのは楽しみながら取り組んできたこと、また仲間に恵まれたおかげだと思っています。地域の主役は、女性と高齢者だと考えていますが、保土ヶ谷区 197 の自治会・町内会において女性が会長を務めているのは 12% ということでまだまだこれからという部分もあります。

4 月から第 22 期区民会議がはじまり、来期も代表を務めることとなりました。これからも、使命感と情熱をもって取り組んでいきたいと思っています。

### 特定非営利活動法人

さくら茶屋にししば

西柴団地において、同じ世代の人たちが約 40 年住み続けてきて、一斉に高齢化してきたことから、お互い助け合い、暮らしていこうという想いで活動がはじまりました。現在は、男性協力者を増やすため、趣味の会や「まず飲もう会」の開催など試行錯誤をしています。だんだんと若い方も増えてきており、心強く思っています。

周囲の方も、さくら茶屋がお休みだと寂しいと言ってくくださるので、そのような言葉を励みに一生懸命やっています。

